



ほけんだより 9月号



令和3年9月6日
立石いろは保育園
看護師 厚地

朝夕の涼しい風に秋の気配を感じるようになりました。新型コロナウイルスについての情報は日々変化し、まだまだ未知なる部分の多いウイルスのため、不安が強くなることもあると思います。家庭内感染も多く10歳未満の感染者数も増加傾向となっています。園でも体調の変化に気をつけながら過ごしていきたいと思います。

園での発熱時の対応について

現在、嘱託医と相談をして体温測定時37.5℃～37.9℃の場合は病的による発熱か、一時的なこもり熱によるものかを判断するために15分～30分安静にしてもらい、様子を見ています。その際、保護者の皆様に状況報告のお電話をさせて頂いています。安静後も37.5℃以上続く場合は再度お迎えのご連絡をさせて頂いていますので、ご理解のほどお願い致します。

測定した時点で38.0℃を超える発熱があった場合は、お迎えのご連絡を致します。

乳児は、幼児と比べ免疫力が弱く感染のリスクが高いため、状況に応じてすぐにお迎えのお電話をすることがあるので、ご理解ご協力をお願い致します。



爪について

爪（つめ）が伸びていると、友達をひっかいてしまったり、折れたりなどと、けがの原因となります。また爪は、汚れが溜まり不潔になりやすいところにもかかわらず、指しゃぶりや爪をかむくせがある子も多く、汚れたままにしておくとばい菌を直接取り込んでしまいます。週に一度は指先のチェックを行うようにしましょう。

爪の働き

指先を保護したり、手の平側からの感触を受け止めたりする他にも、爪から健康状態を知ることができます。爪全体の色が紫色をしていたり、白くにごっていたり、すじや溝ができている場合は病気の可能性もあるので、気になる場合は病院へ行きましょう。

爪ケアのポイント

爪の手入れの目安は1週間に1回程度です。お風呂上がりの爪がやわらかい時が切りやすいのですが、切り過ぎるとばい菌が入ることもあるので深爪にならないよう、十分に気を付けましょう。

